

カーヴ・ド・オルシュヴィレールがパリの農業コンクールにて、アルザス・ワイナリーの優秀賞を受賞！

今年の1月31日、パリ農業コンクールの公式イベントにおいてフランスの農水大臣、ステファン・ル・フォル氏よりカーヴ・ド・オルシュヴィレールのワイナリーへ優秀賞(PRIX D'EXCELLENCE)が与えられました。

パリの農産物コンクールは、フランス国内の農産物に対しての品評会ですが、ワインの評価部門とは別に優秀な生産者を選出します。過去3年間のその生産者が出品した商品の受賞履歴の数や内容、出品数に対しての金メダルの多さが加味されます。



この賞は、フランス全域のワイン産地を対象に審査され、優秀賞(プリ・ド・エクセレンス)は、1つの地区で1つのワイナリーのみにも与えられます。2017年は、全34の産地から14産地、14ワイナリーのみがこの名誉ある賞を受賞しました。アルザス地方では、カーヴ・ド・オルシュヴィレール社のみにも与えられました。



代表のアンドレ氏よりこの報告と共にメッセージがつづられています。

“この賞は栽培チームの日々の良質なぶどうを栽培する努力と、醸造チームの細心の働きによって作って来たワインが評価されたものと大変嬉しく思っています。1957年より受け継がれて来たカーヴ・ド・オルシュヴィレール社は、現在140ヘクタールを所有していますが、これからも品質向上に努め、お客様に喜んで頂けるワインを作り続けたいと思います。”



カーヴ・ド・オルシュヴィレール社
代表 アンドレ・マルドナド (写真中央)